

Four Seasons

AUTUMN No.122

2022

- 特集I「鉄道とエキナカと労働組合の歴史(前編)」
- 特集II「働きながら介護を続けるコツ 第2回」
- 特集III「第36回定期大会レポート」
- 退任役員のあいさつ
- 投稿企画「鉄道150年だよ! 駅弁大集合!」



執行委員長
平野 智也

さまざまなたつなごを深め、私たちがJR-Cross労組に加入してよかつたと思つてもらえるよふな活動をおこなつてまいります。

今年度の活動のキーワードは、「つなごり」です。

10月15日に開催しました第36回定期大会において、引き続き執行委員長に就任しました平野です。

まず今大会をもつて、退任されました大釜前執行副委員長、長屋前執行委員、似内前執行委員、これまで労働組合活動にご尽力をいただき、ありがとうございました。

長屋さんは、自分の考えを持っている人であり、納得するまで議論する人でした。このことが周りからの信頼につながつたのだと思います。活動をするなかで話を聞くこと、話を伝えることを培つたと思いますので、業務においてもぜひその力を発揮していただければと思います。

似内さんは、自分のスタイルを持っている人であり、何よりユーモアにあふれる人でした。いろいろなことを笑いに変えてもらえたなと思っています。また、各種活動に、仙台から参加することは大変であったと思います。時に泊りがけでの活動もありましたので、その負担の大きさはかなりのものであったと思います。本当にありがとうございました。

大釜さんは、住んでいるエリアが一緒であることから、ともに過ごす時間は専従役員のなかでも一番長く、よく私の話を聞いてもらい、あたたかくフォローしてもらいました。どれだけ救われ、安心感を得られたことか。私個人にとっての労働組合は大釜さんでした。

大釜さんは、専従役員として8年間、似内さんは非専従役員として6年間、長屋さんは4年間、大変お疲れさまでした。ともに活動してくれたことに感謝申し上げます。今後は、労働組合役員の先輩として、違ふ角度からのご指導・ご鞭撻をお願いいたします。そして、会社においても更なるご活躍を祈念いたします。

今大会において、今後1年間の活動方針を決定するとともに、役員改選をおこない、新たに新宿分会より角田さんが執行副委員長に、また新宿分会より高橋さん、仙台分会より菊池さんが執行委員として選出され、総勢11名の体制で活動をおこなうこととなりました。大きな体制の変化となりますが、新たな体制において、新たな活動を模索していきます。

会社施策等への対応としては、いま会社の業績は回復傾向にあります。が、まだまだ安定的な利益を出せるまでには至っていません。また、事業構造上の問題もありますが、カンパニーによって業績に差が生じてもいます。そのようななか、会社では働き方にも影響を及ぼす構造改革のとりくみが進められています。私たちとしては、まずはアンテナを高くし、会社との関係をより深め、各種情報をしっかりとキャッチしてまいります。そして、この厳しい状況を打破するために避けては通れない、必要なとりくみを推進するためには、正しく危機感を共有し、なぜその施策をやらなければならないのか、その施策にとりくむことによりどのような効果

があるのかということ、働く私たちがしっかりと理解することが何よりも大切であると思っています。そのことがとりくみの力になるのも思っていますので、実施に際しては丁寧な説明が必要だと考えています。その結果、やらされているのではなく、自主的にとりくむのが理想です。私たち労働組合としても、とりくみ推進のために、問題や不安の解消に努め、みなさんが前向きにとりくめるよう、労働組合としての役割を果たしていきます。

2022年度活動方針では、4つの重点とりくみ項目を掲げました。「働くうでを抱えている問題・課題の解決・解消」「安心して働くための条件等の整備」「つなごり・コミュニケーションを図る機会の創出」「活動内容を知ってもらうための情報発信の強化」の4つになります。これまで以上に次の1年間で力を入れるべき活動は何かを組織内で明確にし、組合員のみなさんにも伝わるようにと考えました。

特にこれまでと違ふ考えであり、とりくみとしては、

- 個別具体的な問題・課題の解決・解消にむけて、『小単位での意見交換の機会を増やすこと』『職場発案型のとりくみをおこない、組合員のみなさんと一緒に問題を解決すること』
- つなごり・コミュニケーションを図る機会の創出にむけて、『組合員のみなさんの趣味を通じた交流の機会をつくるサークル活動の枠組みを作り支援をすること』『仕事・生活における役立つ情報提供のための各種セミナーを開催すること』
- 活動を知ってもらう情報発信の強化にむけて、『オルグ内容や各種制度について動画による情報発信をすること』『日常的な活動内容の報告をおこなうなど、情報発信の頻度を高めること』

などとなります。これまでの労働組合としての活動も継続しつつ、それだけではなく組合員のみなさんとの新たなつなごりへと広げていきたい、ひいては、私たちの組織力の強化へとつなげていきたいと考えています。

新たなとりくみの実施には、単組執行部だけではなく、分会役員のみなさん、そして組合員のみなさんの力が必要となります。みなさんにも楽しみながら活動してもらえようとりくみにしていきたいと思っています。

2022年度の活動のキーワードは「つなごり」だと思っています。さまざまなたつなごを深め、私たちがJR-Cross労組があるから安心して働ける、困ったときに相談できる、活動に参加すると人とのつなごりが広がるなど、加入してよかつたと思つてもらえるよふな活動をおこなつてまいります。

新たな執行部に対して、ご支援・ご協力をお願いいたします。

鉄道150年記念企画

鉄道とエキナカと労働組合の歴史

前編



黎明期

1869	1870	1871	1872	1885	1891	1893	1894	1906	1908	1914	1925	1927	1929	1931			
鉄道建設決定	新橋～横浜間鉄道の測量着手	線路敷設一部完了、試運転開始	新橋駅 横浜駅で新聞販売開始	日本の鉄道開業(新橋～横浜間)	宇都宮駅で駅弁(おにぎり)販売開始	官設鉄道東海道線、新橋～神戸間全通	日本鉄道、上野～青森間全通	軽井沢駅で駅そば販売開始	京都電気鉄道開業(電気鉄道のはじまり)	鉄道国有法公布	青函連絡船就航(青森～函館間)	横浜駅に崎陽軒売店が開業	東京に中央停車場完成、東京駅と命名	山手線電車環状運転開始	東京地下鉄道開業(上野～浅草間)	梅田駅にターミナルデパート開業	神田須田町に地下鉄ストア(駅チカ)開業

■ 鉄道に関する出来事 ■ エキナカ(主に鉄道弘済会)に関する出来事 ■ 鉄道弘済会労働組合に関する出来事

1872年(明治5年)日本初の鉄道開業

6月12日に、品川～横浜間(約24キロ)が仮開業。7月10日には、途中駅にあたる川崎、神奈川の両駅が開業。8月に新橋～品川間の線路がつながり、10月14日の開業式を迎えた。10月15日以降は、1日9往復が運転された。所要時間はノンストップで53分であった(現在の新橋～横浜間所要時間は22分)



旧新橋停車場(復元)

路線の建設や運営には政府等が関わっており、実質的には「半官半民」の会社であった。1906年、鉄道国有法の制定により、日本鉄道をはじめとする私鉄各社の多くは文字どおり国有化された。

1908年(明治41年)青函連絡船就航

帝国鉄道庁が青森～函館間定期航路を開設。最新鋭の蒸気タービン船「比羅夫丸」を就航させ、両港間を4時間で結んだ。津軽海峡連絡船自体は前述の日本鉄道によって計画され、連絡船自体も同社によって発注されていたが、就航は同社の国有化後になった。



青森港の青函連絡船「八甲田丸」

1872年(明治5年)鉄道開業より古い駅構内物販業

10月14日、新橋～横浜間で鉄道が営業を開始した。しかし仮営業はその前から始まっており、汽車を見物にやってくる人々の多さに注目して、英国人ジョン・ブラックが新橋駅(現:汐留)と横浜駅(現:桜木町)で「横浜日日新聞(現在の毎日新聞)」を売り始めたのが駅構内物販業の始まりとされる。

1891年(明治24年)日本鉄道全通

日本鉄道は東北方面～北海道開拓を目的として発足した鉄道会社で、1882年に川口～熊谷間から建設開始、上野～高崎～前橋までを開通させたのち、大宮から分岐した現在の東北本線、いわて銀河鉄道、青い森鉄道区間である上野～青森間を1891年に全通させた。日本鉄道は私鉄であるが、

1929年(昭和4年)鉄道会社によるターミナルデパート等経営の勃興

鉄道会社による駅に立地している百貨店の出店は、1920年の阪神急行電鉄梅田駅に白木屋(江戸三大呉服店のひとつ)が出張店を出店したのが最初である。阪神急行電鉄は1929年に名実ともに世界初のターミナルデパートといえる、阪急百貨店を開業させ、その後、私鉄によるターミナルビルへの百貨店等経営が相次いだ。

1931年には、東京地下鉄道神田駅改札外地下道に地下鉄ストアが開業している。鉄道会社直営の地下街は、すでに戦前から存在していたのである。

永窪 雄二さん(現在:東京支店上野納金所勤務)



1970年から1987年まで、青函連絡船内の鉄道弘済会運営による食堂や売店に勤めていました。当時の青函連絡船は、北海道と本州を結ぶ大動脈でしたから、函館の従業員は札幌よりも多かったですよ。私自身、組合活動にも携っており、分会役員を担っていました。連絡船の乗務では、最初の数日は船酔いもありましたが、すぐに慣れました。

連絡船の乗務では、最初の数日は船酔いもありましたが、すぐに慣れました。

先輩に聞く! 鉄道弘済会のころ①

寝室もエンジンの音がうるさかったのですが、慣れてくるとそれが心地良くなりました。海の状況は常に変わるので、出航して間もなく引き返したこともありましたがね。波が高くて海に落ちそうになったことも。一方で、蟹気楼やイルカを見たこともありましたね。

青函トンネルの開通により青函連絡船の廃止が決まり、職場がなくなると

なった際には、東京への広域異動を選択しました。東京に身寄りがあるわけでもないなかで、労働組合が主体となって、いろいろと動いてくれました。東京に出てくるということで、こっちでは乗らないから車も売り払って出てきましたよ。そして、やっぱり船が好きだからと、港がある横浜を希望する仲間も多かったですね。

戦前・戦中・戦後

高度経済成長期

1932	1933	1938	1942	1946	1947	1949	1950	1952	1953	1954	1955	1959	1960	1962	1963	1964	1967	1969	1970	1971	1972											
鉄道弘済会設立	東京駅・上野駅等で売店営業を開始	上野駅にて初のたばこ自販機営業開始	日本食堂株設立	関門トンネル下関～門司間開通	京都駅にて一時預かり業務を開始	鉄道弘済会本部労働組合結成	鉄道弘済会労働組合結成大会開催	鉄道弘済会健康保険組合設立	公共企業体「日本国有鉄道」発足	鉄道弘済会品評会開催	株鉄道会館設立	東京駅鉄道会館ビルに大丸開業	現業の労働時間を8時間に統一	東京八重洲口にコインロッカー設置	横浜駅にてシウマイ弁当販売開始	初のデモ行進実施(上野広小路)	ユニオン・ショップ制の獲得	151系電車、時速163キロを記録	東海道線に修学旅行専用列車運行開始	座席予約装置MARS-1を導入	弘済食堂株設立・列車食堂営業開始	全国婦人連絡会議のはじまり	東京モノレール開業(羽田～浜松町間)	東海道新幹線東京～新大阪間開業	新幹線駅構内営業開始	売上不足金全額会負担を勝ち取る	「こうさい書店」開業	株東京ステーション・サービス設立	ディスカバー・ジャパンキャンペーン	女子販売員による初のストライキ突入	山陽新幹線新大阪～岡山間開業	鉄道開業100周年記念式典を挙行

■ 鉄道に関する出来事 ■ エキナカ(主に鉄道弘済会)に関する出来事 ■ 鉄道弘済会労働組合に関する出来事

1932年(昭和7年)鉄道弘済会設立

日清・日露戦争などを通じて、鉄道輸送が急激に拡大するなかで、鉄道作業は、連結作業、入替作業など危険をとまぬため、職員が死傷する事故が毎年絶えなかった。このため、公傷者や殉職者の遺族などに、職業的援助を与えることなどの事業をおこなう財団が設立されることとなり、財団法人鉄道弘済会が設立された。4月1日に、上野駅に5店舗、東京駅に5店舗が設置されたのが、弘済会売店第1号である(なお、これより以前の鉄道身障者福祉協会による両国売店営業(1930年)の成功が「鉄道弘済会誕生の踏み台となった」とされている)。



鉄道弘済会売店(目黒駅)

1938年(昭和13年)日本食堂株設立

日本食堂(のちに㈱日本レストランエンブライズ→㈱JR東日本フーズ→フーズカンパニー)は食堂車の業務改善、サービス改善のため、日本鉄道共済組合、鉄道弘済会などが筆頭株主となり、主要食堂6社の列車食堂部門を合併した民間企業として発足した。実質的には戦時体制へむけての政府管轄下の会社であり、国家総動員法が公布された年に発足していることから、食材事情が厳しくなるなかで、統制色が一段と強まっていたことが設立の背景にある。社名は「日本列車食堂」とする案も有力だったが、食堂、小売りなどへの進出を考慮し、「日本食堂」としたという。

1941年(昭和16年)～1945年(昭和20年)第二次世界大戦と鉄道

鉄道は世界的にも軍事的要素の強いものと認識されていたため、本土空襲時は格好の標的となった。空襲被害が最も多かったのは東海道本線で172回。ついで鹿児島本線88回、中央本線81回、東北本線72回。米軍の攻撃によって運転見合わせとなった時間は、実に7,410時間にも及んだ。

第二次世界大戦とエキナカ

戦中は食堂車もだんだんと廃止されるようになり、駅売店においてはヌカ等を入れた黒色の代用パンを販売したが、これを買う人が行列でひしめいたという。そして空襲時には、売上金を身につけて店の戸を閉め、駅の地下道にかけこんだという。また、駅そばを売続けるために新潟から連日埼玉にそ

ば粉の買い出しに行ったり、南京豆の仕入れのために広島から千葉まで満員の列車に揺られたり、といったエピソードもある。

1947年(昭和22年)鉄道弘済会労働組合結成

焼け跡に闇市が立ち並んでいた戦後混乱期、食料の入手や明日の生活もままならない厳しい状況のさなか、GHQによる日本の民主化の一環として、労働組合の結成が奨励された。1945年12月には、団結権を保障する「労働組合法」が交付され、多くの労働者が立ち上がり、労働組合運動が活性化し始めた。鉄道弘済会で働く職員も全国各地で立ち上がり結束し、1946年に東京本部労組を結成、翌1947年には全国に誕生した支部組合を統一するかたちで鉄道弘済会労働組合が結成された。



鉄道弘済会労働組合結成大会

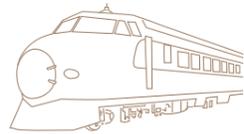
1949年(昭和24年)日本国有鉄道発足

日本国有鉄道(通称:国鉄)は、これまで「鉄道院」、「鉄道省」などの政府官庁の組織であった「官営鉄道」を、公共企業体として独立採算制の公共事業として承継する国の外郭団体として発足した。発足した当時は、GHQ統治下での戦後の混乱期にあり、旧満州、朝鮮、台湾などで働いていた鉄道関係者や、復員軍人などを職員として積極的に受け入れていたため、人件費が倍以上に膨らんでいた。そのため、国鉄初代総裁となった下山定則の最初の主な仕事は、膨れ上がった60万人もの職員数を短期間のうちに数万人レベルで大幅に削減するというものであった。

1952年(昭和27年)株鉄道会館設立・東京駅大丸開業

戦後、戦災等で疲弊した駅舎や駅周辺の開発計画が進み始めた1950年代、東京駅を舞台として、国鉄共済組合、鉄道弘済会、国鉄関連の財界人など10名が発起人となり、株鉄道会館が設立。本館には大丸百貨店が出店する大規模プロジェクトであった。当初、テナント側の誘致は思うように進まなかったようだが、真っ先に店出を決断したのは東京文明堂であった。これがきっかけとなって銀座の有力店数店が一同となって店出を申し込み、最終的には入居希望者は約200店に達したという。

先輩に聞く! 鉄道弘済会のころ



名のお客さまが乗る時もありました。函館支部の職場のなかでも青函連絡船が一番の稼ぎ頭でしたね。青函連絡船だけでなく、遊覧船に勤務したこともありました。青函連絡船がなくなるとなった1987年に、札幌駅の売店勤務に異動となりました。伝票や計算に苦労した記憶があります。その後札幌支部から広域配転で東京に異動しました。子どもも3人いるな

かで、社宅を勧められましたが、狭いので借り上げ社宅に住むこととなりました。そして東京に来てからは売店の販売員として働きました。

1955年(昭和30年)ユニオン・ショップ制確立

ユニオン・ショップ制とは、経営者が労働者を雇用する際に、労働組合員かどうかは雇用条件としないが、雇用後の一定期間内に労働者は労働組合に加入しなければならないとする協定のことをいう。鉄道弘済会労働組合ではユニオン・ショップ制の確立以前から、1,000人を超える規模の集会やデモ行進を開催するなど、組合活動は大きなうねりをみせていたが、確立により、組合活動の基盤がより強固になり、同年以降の賃金改善、労働条件の向上にむけて大きく前進することとなった。

1959年(昭和34年)151系電車、時速163キロを記録

国鉄151系は1958年にビジネス特急「こだま」として東海道本線でデビュー。東京～大阪間を6時間50分で結んだ。1959年の高速試験においては、最高時速163キロを達成し、狭軌(線路幅1067mm)世界最高速度記録(当時)を更新した。その成果は電車のさらなる高速走行の可能性を実証し、新幹線の実現へと導いた。



151系(手前)、新幹線試験車1000形(中)、0系新幹線(奥)

1963年(昭和38年)全国婦人連絡会議のはじまり

鉄道弘済会労働組合では、女性組合員が過半数を占めているなか、女性の組合活動への理解と参加は十分といえなかった。女性自らが積極的に問題にとりくみ、それを組合機関へ反映させようとする動きが現れたのは1962年度の運動方針に盛り込まれてからである。各支部で女子組合員の会合もたれ、1963年にはそれが婦人対策委員会に統一され、さらに対策の活発化を促すため、各支部の女性組合員の交流がもたれたのが婦人連絡会議のはじまりである。第1回目の議題は、各支部の婦人対策の現状、閉店時間の現状について、後述の売上不足金全額会負担について、そして、生理休暇を満足に取るには等であった。



全国婦人連絡会議

1964年(昭和39年)東海道新幹線開業

戦前の1939年に東京～下関間を9時間で結ぶ弾丸列車計画が策定されたものの第二次世界大戦により計画は一度頓挫していた。戦後、1958年に運輸省(当時)主導のもと新幹線の計画が閣議決定。1959年工事が着工された。1964年10月1日に東京～新大阪間で東海道新幹線が開業。当時の到達型「ひかり号」は東京～新大阪間を4時間で結ぶとともに、前述の東海道本線特急「こだま」は全駅停車の新幹線名称へと引き継がれた。



東京駅の新幹線とSL

1967年(昭和42年)売上不足金全額会負担を勝ち取る

鉄道弘済会においては、戦前より、売上不足金を販売員が弁償する制度(棚差千分の2以上で原価弁償)があったが成文化されたものではなかった。1949年に規定化され、1960年には「売価弁償と販売補償手当の制度」がスタートした。もとよりこれを疑問視する声はあり、経営協議会の場で質問をする支部や、執行部によるアンケートなども実施していたが、1962年には第15回中央大会で明確に「売上不足金の個人負担に反対し、不足金全額会負担を実現しよう」というスローガンを掲げることとなった。その後数々の団体交渉と段階的な制度改正を勝ち取り、1967年、賃金闘争のなかで念願の売上不足金全額負担制を勝ち取った。

1970年(昭和45年)「ディスカバー・ジャパン」キャンペーン

国鉄は1970年10月に大阪万博終了後の旅客確保対策として、個人旅行拡大キャンペーン「ディスカバー・ジャパン」を開始した。従来のキャンペーンは特定地域に絞ったものが多かったが、「ディスカバー・ジャパン」は「日本を発見し、自分自身を再発見する」をコンセプトに、全国的に進められた。このキャンペーンは、車内や駅のポスター以外に種々のメディアでも宣伝された。それまで特定観光地にしか設置されていなかった駅スタンプは、設置駅を1,400に増やした。その他にも機関紙の発行、新聞での特集記事、テレビ番組の設定などが、キャンペーンを盛り上げるために実行された。

先輩に聞く! 鉄道弘済会のころ

販売はせずに通過するよういわれていたのですが、実際に横を通ったら、土産物の五平餅を買ってくださったので驚きました。そして時は進み、民営化を前にして、日本食堂に転籍し、車内販売を続けるか、鉄道弘済会に残り、キオスク売店で勤務するかを選択を迫られました。私は弘済会に残る選択をし、車内販売業務から降りました。いまではいい思い出です。

尾形 誠治さん(現在:東京支店東京納金所勤務)



1970年に鉄道弘済会に入会し、青函連絡船の食堂の皿洗いからスタートしました。その後、ベッドボーイ(ベッドメイク)や調理・用務・販売・ウェ이터などの業務をおこないました。各班には組長と呼ばれるリーダーがいて、みんな一体となってやっていたので、チームワークはよかったかもしれないですね。正月や夏休みの繁忙期になると1,600

曾根 妙子さん(現:長野支店NewDays松本銘品館勤務)



私は1980年に鉄道弘済会に入会し、特急あざさの車内販売員として乗務していました。車内販売は、お店にお客さまが来店される売店と異なり、自分からお客さまのもとに売り込みにいく仕事です。店舗でいえば店前での呼び込みに近いといえるでしょうか。一人ひとりの目を見て、左右に首を振って、いかがでしょうか?と声をかけるとお客さ

国鉄時代の終焉

1973	1974	1975	1976	1977	1982	1983	1984	1985	1987						
駅売店の愛称をキヨスクと制定	通勤費全額会費負担勝ち取る	山陽新幹線岡山～博多間開業 夏季一時金支給月を7月から6月に	蒸気機関車牽引の定期列車運行終了	春闘、初の弘済会前座り込み実施	リニアの浮上走行実験開始(宮崎)	東北新幹線大宮～盛岡間開業	上越新幹線大宮～新潟間開業	白糠線廃止(特定地方交通線廃止第1号)	運輸省と国鉄問題について意見交換	ミネラルウォーター「大清水」発売開始	青函トンネル本坑貫通	東北新幹線上野～大宮間開業	民営化反対に関する全国職場集会実施	日本国有鉄道の分割・民営化実施	キヨスク会社の分離・別会社化

■ 鉄道に関する出来事 ■ エキナカ(主に鉄道弘済会)に関する出来事 ■ 鉄道弘済会労働組合に関する出来事

1973年(昭和48年) 駅売店愛称をキヨスクと制定

8月に「鉄道弘済会売店」は「キヨスク」の愛称が命名された。売店の愛称は広く職員、関係者から募集することとし、「愛称名選考委員会」が設けられ、応募総数1,897点の中から、始めは「グリーンショップ」「ユーアーメイト」の2点があがり、これに選考委員会側から参考にと加えられた「キヨスク」の3点が最終候補となった。最終的に理事会で決まったのは「キヨスク」である。キヨスクとはトルコ語に源を持つ「あづま屋」のことで、欧米では駅前広場に立つ新聞売店、公衆電話等に使われ、「便利で小さな売店」の国際語でもある。



キヨスク売店(大船駅)

1974年(昭和49年) 通勤費全額会費負担を勝ち取る

従前、鉄道弘済会職員は国鉄の無賃乗車証の交付を受けていたが、1949年にこれが廃止となった。労働組合は「通勤費の支払いは実質賃金の低下」と主張していたが、両者の対立は継続した。その後、半額会費負担のまま交渉は打ち切られたが、1963年と1965年に段階的に制度改正、1973年の経営協議会において会の全額負担が決まった。

1977年(昭和52年) リニア浮上実験開始

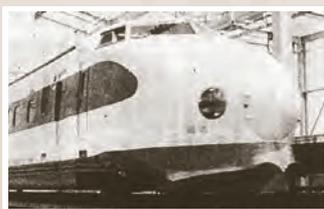
日本でリニアモーターカーの研究が始まったのは、1962年のこと。1972年には浮上走行を成功させている。1977年には宮崎県の実験線で走行実験を開始。1979年には無人走行で時速517キロ(世界記録・当時)を達成した。その後リニア実験線は宮崎から山梨に移転した。

1984年(昭和59年) ミネラルウォーター大清水発売開始

1984年に上越新幹線のトンネル工事中に湧き出た水を、国鉄では「大清水」(おしみず)という商品名で発売した。2007年には商品名称を「From AQUA」に変更し、現在ではJR東日本のエキナカで最も売れている。

1985年(昭和60年) 東北新幹線上野～盛岡間開業

1982年6月23日に東北新幹線は大宮～盛岡間で暫定開業した。大宮～上野間は建設反対運動によって開業が遅れ、1985年大宮～上野間が延伸開業。当初は最高速度210キロで運行していたが、上野延伸時に最高速度を240キロまで引き上げた。上野～盛岡間の所要時間は約3時間、連絡特急「はつかり」が盛岡～青森間を約2時間半で結び、上野～青森間は5時間台で結ばれることとなった。



東北新幹線200系

1987年(昭和62年) 国鉄分割民営化

モータリゼーションの進展と発足当時より国鉄では多くの人員を抱えていたこともあり、1964年の東海道新幹線開業の年に、国鉄は赤字に転落した。その後、中央線、常磐線、総武線などの通勤路線を複々線化する通勤5方面作戦の展開や、新幹線の延伸等によって赤字は急速に拡大していった。そこへ度重なる運賃改定も相まって、国鉄は他の交通機関への逸走を招いていき、世論も国鉄民営化へと傾いていった。そして紆余曲折ののち、1987年、国鉄は6つの旅客鉄道会社と1つの貨物鉄道会社へと分割・民営化された。

キヨスク事業の鉄道弘済会からの分離・別会社化

鉄道弘済会の収益事業であるキヨスク部門は、国鉄分割民営化に伴い、鉄道弘済会から分離、地域分割され、6つの旅客鉄道会社それぞれの子会社としてスタートすることとなった。1986年11月、国鉄改革関連法成立を受けて、鉄道弘済会では、「分離・別会社化に関する経営協議会」を設置し、新体制移行への具体策の策定作業に入った。1987年3月には北海道、九州、四国の3島から本州への広域配置転換、希望退職募集などが慌ただしく実施された。

鉄道弘済会労働組合と「分割・民営化」反対

国鉄が分割・民営化されることになれば、キヨスクをはじめとする駅構内営業を承認する相手が6つの旅客鉄道会社になるということから、全国一社体制ではなくなること、また、引き続きいまの場所で同じ条件で営業できる保障がなくなることから、鉄道弘済会労働組合は、国鉄の分割・民営化に反対する意思統一をした。

国鉄は1984年から国鉄直営による物品販売計画を発表、鉄道弘済会が計画していた新規営業箇所において国鉄が直営で営業するという状況となった。

労働組合では、職域の確保のため、欠員が多いなかではあるが、より少ない要員で、よく働くことを提起する職場集会を開催し、キヨスクを閉店させないとりくみを進めていった。全国で開催したこの職場集会には14,252名中、11,442名が参加した。



後編へ続く

参考文献

- 鈴木 泰弘ほか(編著)(1982)『スクラム東北縮刷版No.01』、鉄道弘済会労働組合東北支部
- 鉄道弘済会労働組合教宣部(1986)『鉄弘40年史』、鉄道弘済会労働組合
- 鉄道弘済会・Kiosk労働組合(1988)『鉄道弘済会・Kiosk労働組合50年史』、鉄道弘済会・Kiosk労働組合
- 菅原天意・森 洋之進・田中宗英(2004)『目覚めるキヨスクー東日本キヨスク全社改革の軌跡ー』、中央経済社
- 高木 豊(2022)『知られざる国鉄遺産「エキナカ」もう一つの鉄道150年』、日刊工業新聞社

働きながら 介護を続けるコツ



今回は、介護の現状として、仕事を辞めて介護に専念したとしても、さまざまな負担が減っている人は少なく、また介護離職者の44%が会社の介護制度を利用せずきつくなり離職につながっていることから、仕事と介護を共存させる

仕組みが必要であることをお伝えしました。

このことから、今回は、働き続けるために何をを使う?という観点から、JR-Crossの介護制度と、利用における注意点について特集します。

第2回 JR-Crossの介護に関する制度を知る

JR-Crossの介護に関する制度

●介護に関する各種制度は、**要介護状態にある家族**を介護する従業員が取得できます。

※要介護状態とは：負傷、疾病、身体上・精神上の障害により、2週間以上の期間にわたり、常時介護を必要とする状態。

※対象となる家族：①配偶者（事実婚を含む）、②父母（養父母を含む）、③子、④配偶者の父母、⑤祖父母、兄弟姉妹、孫

①介護休職

- 一定期間を介護に専念するために休職し、休職終了と同時に復職する制度
- 要介護状態にある対象家族1人につき、原則として**通算365日以内**（特別の場合でも730日以内）
- 休職の回数は、同一の要介護状態にある対象家族1人につき**3回**まで

②介護休暇A・B

- 勤務時間の短縮や日の休暇を取得できる制度
- 要介護状態にある対象家族1人につき、
 - A. **1カ月最大37.5時間**（2人以上の場合は最大75時間）の労働時間の短縮
 - B. **1年度で5日**（2人以上の場合は10日）までの休暇
- 請求回数の制限なし

③介護のための始終業時間の繰上げ・繰下げ

- 1日の所定労働時間を**2時間を限度**に繰上げ又は繰下げすることができる
- 利用開始から**3年の間に2回**までの範囲内

④所定外労働の制限

- 所定外労働（**時間外労働・休日労働**）が免除される制度
- 申請1回につき制限期間は1カ月以上1年以内、**請求回数**の制限なし

⑤時間外労働の制限

- 時間外労働を**1カ月につき24時間、1年につき150時間**を上限に制限できる制度

- 申請1回につき制限期間は1カ月以上1年以内、**請求回数**の制限なし

⑥深夜業労働の制限

- 深夜帯（**22時から翌日5時まで**）の勤務が免除される制度
- 申請1回につき制限期間は1カ月以上6カ月以内、**請求回数**の制限なし

※各種制度の詳細内容は、会社発行の「すまいるライフハンドブック」にてご確認ください。（資料は、「JRCROSS社内ポータル」内の「資料室」→「【全】福利厚生情報」→「統/監/R/W/D」すまいるらふハンドブック」のフォルダ内に格納されています）

その他、育児・介護休業法で義務づけられている介護制度

⑦労働者の配置に対する配慮

- 労働者を転勤させようとする場合には、育児または介護の状況に配慮しなければならない。

⑧不利益取り扱いの禁止

- 介護休職を理由にした解雇、不更新、正社員をパートにするなどの強要、降格、自宅待機、不利益な配置転換等の禁止

介護制度の利用としては、一般的には、②・④・⑤・①の順に多くなっています。しかし、②介護休暇はベースとなる基本給等が減額となってしまう。まず所定外労働の制限である④所定外労働の制限・⑤時間外労働の制限で乗り切れるか考え、それでも難しければ、無給となる②介護休暇・①介護休職の取得を考える方がよい。

《介護休職と介護休暇の違い》

介護休職：一定期間休む/事前申請（開始2週間前まで）が必要

介護休暇：日・時間の取得/事前申請（原則前月末10日前まで）が必要だが、その日でも取得可

《介護休暇A・Bを使う場合の注意点》

・無給休暇のため、月給者は休暇を取得した時間・日の賃金が減額となる。

$$\text{減額する額} = \frac{\text{減額する種類の賃金の額（基本給+調整手当+上限調整給）}}{1年における1箇月平均所定労働時間数} \times \text{欠勤時間数}$$

（例）基本給25万円の人が、介護休暇Aを取得して1カ月37.5時間の労働時間の短縮をした場合

$$250,000円 \div 151.875時間 \times 37.5時間 = \mathbf{61,729円の減額}$$

《介護休職を使う場合の注意点》

・介護休職の期間は通算365日以内だが、93日までは雇用保険より「介護休業給付金」（賃金の67%相当額）の給付あり。

給付期間93日は短い?⇒自分が介護するための期間ではなく、介護する体制

をつくる期間とする（施設やケアマネージャーとの相談等）

まとめ

- まずは収入への影響が小さい「**所定外労働の制限**」で乗り切れないか?
- あわせて、**介護保険**などを活用し、**プロの手を借りて乗り切れないか?**

※施設入所も選択肢の1つであることから、対象家族と相談することも大事。

※親の介護施設の費用を子どもが負担しない方がよい。自らの将来の生活に影響が出てしまうこともある。（親の年金収入等で入れる施設を選択するなどを考えた方がよい。）

次回、第3回では、介護保険サービスの内容とあわせて、利用における注意点などについて特集します。

特集

第36回

定期大会レポート

2022年度活動方針決まる



あいさつする
平野執行委員長

第36回定期大会は、10月15日に栃木県・宇都宮市において、39名の代議員が出席したなかで開催されました。

また、来賓として、会社より白石リテールカンパニー長をお迎えし、ごあいさつをいただきました。

活動方針については、活発な議論のもと、代議員の満場一致の承認を得て可決されました。

あわせて役員改選をおこない、2022年度の新執行部を決定しました。今回の改選では、大釜執行副委員長、長屋執行委員（東京分会）、似内執行委員（仙台分会）が勇退し、新たに執行副委員長として新宿分会の角田さん、執行委員として新宿分会の高橋さん、仙台分会の菊池さんが選出されました。



議長には、新潟分会・玉木代議員が選出されました。



議事運営委員長には東京分会・森代議員が選出されました。



資格審査委員は、千葉分会・佐藤代議員に務めていただきました。



大会書記長には、横浜分会・速水代議員(左)、大会書記には盛岡分会・齊藤代議員(右)が指名されました。



2021年度会計監査委員の、本分会・安田委員(左)、本分会・石渡委員(右)

ご来賓の紹介

白石常務取締役
リテールカンパニー長
よりごあいさつを
いただきました。



定期大会風景

大会では、数多くの質疑が出されました。これらの質疑内容については、活動方針に関するものについては、内容を踏まえて着実にとくみを進めていくとともに、会社との協議が必要な内容に関しては、議論・交渉の場で会社へ主張していくこととします。



質疑する浅見代議員
(本分会)



質疑する石田代議員
(八王子分会)



質疑する宮沢代議員
(新宿分会)



質疑する鹿兒島代議員
(新宿分会)



質疑する矢口代議員
(新宿分会)



質疑する白井代議員
(大宮分会)



質疑する姫野代議員
(新宿分会)



答弁する
樋口書記長



答弁する
平野執行委員長

大会の様子



満場一致の承認を得ることができました。

大宮支店によるお土産品の事前受付がおこなわれ、約20万円の売上がありました。みなさんのご協力ありがとうございました。



お土産品について説明をする
鈴木(歩)代議員



2022年度 新執行部 決まる!

第36回定期大会において、2022年度の執行部が決定しました。
大会の承認により、単組役員については、三役が執行副委員長を2名とした4名体制、執行委員が7名の合計11名体制で活動することになりました。
今年度もコロナ禍のなかでの活動を余儀なくされている厳しい状況ではありますが、労働組合としての存在感を示していくために、小規模での意見交換会の開催やオンラインの強化などさまざまな手法を用いるなかで、組合員のみなさんの負託に応えるべく、活動をおこなっていくこととします。これまで以上に信頼される職場組織となるよう、分会とともにとりくんで参りますのでよろしくお願い申し上げます。

三役(専従)



角田執行副委員長
(新宿分会)



平野執行委員長
(新宿分会)



樋口書記長
(大宮分会)



中島執行副委員長
(千葉分会)

執行委員(非専従)



御田執行委員
(本分会)



濫谷執行委員
(東京分会)



高橋執行委員
(新宿分会)



宮地執行委員
(八王子分会)



柏村執行委員
(大宮分会)



有吉執行委員
(千葉分会)



菊池執行委員
(仙台分会)

2022年度 会計監査委員

写真左後方より 吉井委員(八王子分会)、
石渡委員(本分会)、根本委員(千葉分会)



新役員あいさつ

2022年度新執行部

一層のご支援と
ご協力をお
願いします。



JR-Cross労組ロゴマーク決定!



FourSeasons No.119号(冬号)において、ロゴマークデザインを募集した結果、複数の方からご応募いただきました。応募いただいたロゴマークについては、デザイナーに再構成をさせていただき絞り込んでいった結果、左のロゴマークを採用することとなりました。こちらのロゴマークは本分会安田さんのデザインしたもので、JR-Crossの4つのカンパニーのカラーを基調としつつも、グラデーションによって繋がりを表現しています。また、特徴的なフォントを用いたJCUの三文字はJR-Cross労組の英略称です。このロゴマークは第36回定期大会の組合旗によって初お目見えとなりましたが、今後は労働組合の発行媒体等に使用していきます。

FourSeasons No.119号(冬号)においては、ロゴマークのデザイン案にご応募いただいた方の中から抽選で3名の方にJR-Cross取扱商品詰め合わせをプレゼントするとしていましたが、10月末時点で未発送となっています。11月中を目途に、発送いたしますので、ご応募いただいたみなさま、いましばらくお待ちください。なお当選者発表につきましては商品の発送をもってかえさせていただきます。ご了承ください。

退任役員のあいさつ



長屋 謙太郎さん
前執行委員

現在 専門店東エリア
で活躍中

この度の改選で退任することとなりました、単組執行委員の長屋です。

私は、2012年に入社し、当時の東京営業所に配属となり、その翌年から分会執行委員に就任して以来、約10年間、労働組合活動に携わってきました。

当時の分会長からは、「同期2人もやっているといるから組合活動やってみよう」と誘われ、会社のことをより深く知ることができるかなという前向きな気持ちで、東京分会の執行委員となりました。

しかし、執行委員となつてすぐに、組合活動をやると言っていたはずの同期2人がいないことに気づき、実際は2人も断っていたというオチのなかで、私の組合活動はスタートしました。

分会活動を続けていくうちに、休日や終業後の活動がつかいと感じることが増え、改選の時期になると、「今年度いっぱい辞めます」と分会長に伝え、すると残留交渉となり、「それではもう一年だけがんばります」というやり取りを毎年のように繰り返したのを覚えています。そして、残留交渉されていた立場にもかかわらず、いつの間にか副分会長となり、2018年に分会長となり同時に執行部へ入ることになりました。

組合活動における、1番の思い出は次世代分会役員交流会の実行委員を務めたことです。地図を頼りにポイントを探して歩く交流会でしたが、実行委員である私は、下見も含めて一日中歩き回り、また、その下見中に泥まみれになってしまい、こんなので本当に交流が広がるのかなと正直疑問でした。

でもなんでしょう。2泊3日の行事を終える頃には、初めて会ったより参加者も打ち解けていて、実行委員としての達成感がありました。またやりたいかと言われるとやりたくはないですが(笑)。

分会長になった際には、東京分会という組織をどのようにしていくべきか考えました。

まずは組織内の風通しをよくし、職場問題解決に努めていくこととしま

した。三役間の連携を強固にするため三役会議を増やしたり、執行委員会の場では、経過報告や執行委員の意見を否定するのではなく、まずは受け入れることを心がけるようにしました。

いままでは分会長からの話がメインで、執行委員が話す場面は少なかったのですが、誰かが話したことについて他の人が付け加えたりと、派生的な議論ができる組織となりました。そして、執行委員会の出席率も高くなり、みんなが同じベクトルを向いて取り組むことができました。

分会活動で1番楽しかったことは分会主催のレクリエーションです。BBQ、水族館、ランチビュッフェ、屋形船など、さまざまなレクリエーションを開催してきました。

一から執行委員会で話し合い、それが形となっていく過程を見られたこと、また、組合員のためにという気持ちを持って、分会役員が協力して取り組んだことがとてもうれしかったです。レクリエーションに参加してくれた組合員のみなさんの楽しそうな表情は、いまでも頭に焼き付いています。

コロナ禍になり、レクリエーションが開催できなくなってしまいました。そうしたなかでも、組合員のみなさんに対して、分会として何かできないか考えた結果、私のあふれる思いをデザインに込めた分会オリジナルのタオルハンカチを作成しました。大変好評で、東京分会として形に残るものを組合員の皆さんに配布できたことは、初めてのことであったので、とても貴重な経験でした。

至らないところがたくさんあった私を東京分会のメンバーは、さまざまな場面で、協力してくれて、たくさん支えていただきました。本当にありがとうございました。

そして組合活動を通じて、たくさんの組合員の方とお話し、楽しいことやつらいことなど、たくさん共有できたことは自分のなかで大きな財産です。

最後になりますが、みなさまの益々のご活躍とご健康を祈念し、退任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

分会長となり、その年の定期大会で単組執行委員にも選出されました。

仙台分会では、私が分会長になった時すでに自分がアラフォーだったため、後進の育成を重視して活動してきました。育成を重視するあまり、厳しく接し過ぎたかなと反省しています。ここで詳細はお伝えできないぐらいの暴君ぶりだったと思いますが、仙台分会のみんなはよくついてきてくれたと思いますし、そんなみんなだから私がいなくなっても大丈夫だと確信していますので、これから菊池分会長を中心に分会役員みんなで力を合わせて、仙台分会をよりよい組織にしてみたいです。

単組執行部では主に教宣部員として、大釜前副委員長、中島副委員長のもとと友好の輪を広げる旅や日帰りバスツアー、取材など様々な活動を通じて、他分会の役員や組合員のみなさんとふれあわせていただき、人との繋がりを広げることができたことや、いろいろな方の話を聞きアドバイスをいただき、自分の組合活動の糧になったこと、行ったことがない場所へたくさん行かせていただき自身の見聞が広がったことなど、教宣部の活動のなかでの経験が、自分の成長に繋がったと感じ

ています。ただ、ひとつ教宣部に対して根に持っていることがあります。教宣部員になった際、取材のための機材を自分で用意するのですが、ミラーレス不可で一眼レフにしろと言われていたのに、自分よりあとに教宣部員になった方は、いつのまにかミラーレスOKになっていたこと、これにつきましては一生根に持っていこうかなと思っています。というのは冗談で、教宣部について思うところは、新型コロナウイルスの蔓延により旅やバスツアーなど、コロナ前に開催していたようなレクリエーションの開催が難しくなりました。私が在籍していた時も議論を重ね、いろいろと検討しましたが実現には至らず、心残りとなっています。

新執行部にはそれに代わるものになるべく早く開催できるように尽力していただきたいと思っています。開催された暁には、ぜひ参加させていただきたいと思っています。

組合活動を通じて得た知識や経験、人との繋がりは今後会社人生を

送るなかで必ず活かされると思います。分会長になる前に諸先輩方から、「組合をやっていると損はない。」「会社人生の中で組合やっていると良かったと思うことがたくさんある。」ということを言われてきて、当時は自分にやらせるために言っているかと思っていましたが、分会長や単組執行委員を実際にやってみて、諸先輩方の言っていたことは本当だったと実感しています。やはり一番は人との繋がりが大きいと思います。組合活動を通じて繋がった仲間が、本社や各支店、他カンパニーにもいらっしやるので、仕事していくなかでこれ以上に心強いことはないと思います。組合活動をしていなかったら、接点を持てなかったかもしれない方々との繋がりは、今後の会社人生においての大きな財産になると思います。今後とも宜しくお願い致します。

最後になりますが、新執行部のみなさん、そして本日お集まりのみなさんの更なるご活躍、ご健勝を祈念しまして退任のあいさつとさせていただきます。これまでの間、本当にありがとうございました。



大釜 秀広さん
前執行副委員長

現在 新宿支店ケ谷
エリアで活躍中

今第36回定期大会をもちまして、単組役員を退任することとなりました、横浜分会選出の大釜です。

まず、これまでの私の活動のなかで、至らぬ点が多々あったことをお詫び申し上げるとともに、そんな私を諸先輩方、執行部、分会役員、そして多くの組合員のみなさんより、さまざまな面から支えていただき、ご協力くださったことに対して、心より感謝申し上げます。

私が組合活動に携わることとなったのは、2005年に当時の分会長より声をかけていただき、分会執行委員となったことから始まりました。分会役員となった当初は、何をすればよいのかわからず、定期大会や単組委員会、分会では事業説明会(職場協議会)などの場で、端の席で話を聞き、その後の懇親の場で、好き放題に酒を飲んでいるだけでした。その後、分会三役に選出された頃から、単組主導のもと、職場巡回をおこなうようになり、組合員の要望や不安・不満などの声を聞き、事業説明会や安全衛生委員会の中で支店幹部と議論をおこなうことで、より良い職場づくりを目指すということを知りました。

そして、2012年より分会長となり、その年の定期大会で単組執行委員にも選出されることとなりました。執行部では教宣部員として、友好の輪を広げる旅や日帰りバスツアー、『Four Seasons』の取材や編集など、分会役員、そして会社で働くのみではお会いすることのできなかったであろう多くの組合員のみなさんと交流を持つことができ、そしてさまざまな場で懇親を図り、アドバイスをいただいたことにより、自分自身の成長にも繋がったのではないかと感じています。そのなかでも私が執行委員となった年に始まり、5年ほど続いた次世代分会役員交流会では実行委員、専従役員となつてからは事務局を務めさせていただき、これまで組合員間の交流を図る場として代表的であった歩行ラリーに代わる新たなとりくみとして、執行部では樋口さん、中島さん、長屋さん、そして代議員としては白田さんとともに、手探りのなか、長い期間を費やして進めてきました。実行委員会では進め方などについての議論が煮詰まることが度々あり、夜遅くまで作業することもありました。しかし、交流会の最後に参加者の楽しそうな姿を

見ると、ほっとすると同時になぜだか来年度のことを考えてしまう自分がいました。次年度以降、新型コロナが落ち着いた頃に新執行部がどのような判断をするのかはわかりませんが、辛いながらも得難い経験であったと思っています。

専従役員としては、2014年度より、現在高崎支店にいらっしやる大月さんとともに選出されました。5年間を教宣部長、そして3年間を執行副委員長として務めてきましたが、専従役員として組合員のみなさんに何かを残せたかと問われれば、胸を張って応えられることはありません。ただ、そのなかで職場オルグや巡回など、先ほども申し上げたとおり、本当に多くの組合員のみなさんと出会い、話し、酒を酌み交わしたことは、今後の仕事において、そして人生においても、大きな財産です。また、諸先輩からも多くのアドバイスをいただきながら活動することができました。特に板山前委員長とは酒場で、平野委員長とは帰り道でたくさん語ったことも、私の財産のひとつとなっています。至らない点もあったかと思いますが、それらの語らいのなかから、組合員のみなさんの声なき声を聞き、執行部で意見をまとめ、会社に主張し、議論することで、労働条件や職場環境の改善に繋がったことへの一端を担えたのではないかと感じています。

このように、私もそれなりの期間、この組織に携わってきましたので、この場で退任のあいさつをしていることが少し不思議な感覚ですが、11月には復職し、みなさんとともに仕事をしていくこととなります。いまお話ししたとおり、私は多くのみなさんから支えられ、アドバイスをいただきながら、これまで活動してきました。そして、支えられたからには、私も一人でも多くのみなさんを支えたいと思いながら活動してきました。会社も同様であると思いますが、労働組合は、支え合って成り立つ組織です。誰かが辛い思いをしていたら、手を差し伸べ、話を聞く。私はそういう組織であってほしいと思っていますし、実際にそのような気持ちで執行部内で活動してきたつもりです。そのようななかで、代議員、そして組合員のみなさんにひとつお願いがございます。いま選出された平野委員長を中心とした新執行部はこれから盤石の体制になると思いますが、そうは言っても新たな専従体制であり、高橋さん、菊池さんと新執行委員もいるなかでは、今後、更なる支えが必要になってくる時があると思います。そんなときにはぜひみなさんが、手を差し伸べ、お支えいただきたいと思います。私も一組合員として、影ながら新執行部を見つめ、支えていきたいと思っています。

最後になりますが、新執行部のみなさん、そして本日お集まりのみなさんの更なるご活躍、ご健勝を祈念しまして退任のあいさつとさせていただきます。これまでの間、本当にありがとうございました。



似内 紀一郎さん
前執行委員

現在 仙台支店郡山
エリアで活躍中

今第36回定期大会をもちまして、単組執行委員を退任することとなりました、仙台分会選出の似内です。まず、これまでの私の活動に対しまして、みなさまより多くのご支援、ご協力をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

私が最初に労働組合と関係を持ったのは、Aスタッフから店舗マネージャーになった12年前の一本の電話でした。当時の分会長から店舗に連絡があり、「労働組合だけ名前だけ貸してほしい。」と言われました。マネージャーになったばかりで、まだ右も左もわからない純真無垢な私は、名前だけならよいですよと軽い気持ちで名前を貸してしまいました。その時は近い将来まさか自分が分会長になるとは微塵も思っていませんでした。その後、マネージャーから支店営業課へ着任したタイミングで分会執行部へ入り、2016年には



鉄道 150年だよ！ 駅弁大集合！

駅弁の歴史には諸説あるものの、おおよそ1885年(明治18年)前後には販売がされていたとされています。かつては、列車の窓越しに立ち売りの販売員から購入することが主流であった駅弁。いまは車内販売からも姿を消し、時刻表から駅弁の記載が消える駅も増える一方です。そんな駅弁ですが、主要駅ではエキナカの発展とともに、新たな駅弁も誕生しており、興味は尽きません。そうした各地の駅弁を各分会に紹介してもらいました。

盛岡分会

津軽づくし弁当(新青森駅)

町田 留美さん(NewDays新青森旬味館)

私のオススメ「津軽づくし弁当」は、青森県産特A米の青天の霹靂を使用したおいしいご飯に、津軽半島沖で育った青森トラウトサーモン、陸奥湾産ホタテの照り焼き、深浦町で採れた紅ズワイガニ、隣ヶ沢町の牧場で飼育された自然熟成豚の味噌炒め、十和田産ごぼうと長芋のピクルス…と盛り沢山のおかずが入っています。これ一つで青森県産品を堪能できる、大満足の駅弁です！

旬味館で販売しているので、新青森駅にお越しの際はぜひお立ち寄りください。ご予約も承ります！



鶏めし弁当(秋田駅・大館駅など)

佐藤 雅子さん(NewDays秋田ぼぼろーど)

秋田の駅弁といえばこちら！「花善鶏めし」です。過去に駅弁大將軍にも選ばれました。スープで炊き込んだご飯は絶品！もちもちのご飯と味の染み込んだ鶏肉の組み合わせも良く、地元民であってもたまに食べたくなっちゃいます。

繁忙期はND秋田中央口で山積みになっていますので、是非お立ち寄り下さい。



仙台分会

復刻版米沢牛肉すきやき弁当(仙台支店管内新幹線停車駅)

前東 尚之さん(仙台支店営業課)

牛肉の駅弁は数あれど、「米沢牛」を謳っているものは結構少ないことはご存知でしょうか？米沢の老舗駅弁屋「松川弁当」の駅弁で米沢牛の歴史に思いを馳せながら食せば、なんだか知った風な気分になって最高です！もちろん、味もサイコーでした！



牛たんのり弁(仙台駅)

奥野 幸椰さん(NewDaysミニ仙台34号)

今回ご紹介するのは、仙台駅でも限られた店舗でしか販売していない「牛たんのり弁」。ふたを開けると、大きな白身魚フライと、仙台名物の牛タンが！食べ応え満点の牛タんのり弁、仙台にお立ち寄りの際はぜひご賞味あれ。



東京分会

こぼれイクラととろサーモンハラス焼き弁当(東京駅)

岡光 倫子さん(東京支店総務課)

私が紹介するのは、東京駅「駅弁屋祭」で販売している「こぼれイクラととろサーモンハラス焼き弁当」です。名前の通りこぼれそうな程イクラが脂ののったサーモンハラスの上に散りばめられており、贅沢な駅弁となっています！海鮮好き・サーモン好きの方にはぴったりな駅弁、ぜひご賞味ください！



W牛ハラミステーキ弁当(東京駅)

坂田 夏穂さん(NewDays尾久)

私が紹介するのは、東京駅「駅弁屋祭」で販売している「ダブル牛ハラミステーキ弁当」です。

和風醤油ダレとデミグラスソース2種類の味の大きな牛ハラミステーキが味わえ、肉食な私でも大満足な駅弁となっています！東京駅お越しの際、肉食派の皆さまぜひお試しください！



新潟分会

新幹線40周年記念弁当(越後湯沢駅)

小野塚 美穂さん(NewDaysミニ越後湯沢)

お米の王様「南魚沼産コシヒカリ」と、新潟県のブランド豚である「越後もち豚」で温かいお弁当が食べたいというお客さまからの要望で作られたこの弁当。すきすき弁当の味付けをリニューアルし「新幹線40周年記念弁当」として復活した一品です。ぜひご賞味下さい！



本分会

銀だら幕の内弁当(新宿駅)

松尾 俊太郎さん(営業部ニューデイズ営業推進ユニット)

「銀だら幕の内弁当」は名前の通り銀だらの西京焼きが本場に美味しいです！

最近揚げ物よりも銀だらの方がほくなる年頃になりました。これからますます美味しくなる旬の食材です。是非皆さんも食べてみてください！



横浜分会

シウマイ弁当(新横浜駅・横浜駅・東京駅など)

薄井 英之さん(NewDays鶴見西口)

横浜の駅弁といえば、崎陽軒の「シウマイ弁当」！1954年に登場し今でも愛され続けています。行楽のお供に欠かせなく、出来立ては、ほのかに温かく冷めても美味しいシウマイ弁当！創業114年の今では、たくさんのお弁当が販売されておりますが、シウマイ弁当の味は、現在でも横浜の味として皆様の記憶に残っていると思います。

一度でも是非食べてほしい駅弁です。



さけめし弁当(直江津駅)

古市 清美さん(NewDaysミニ直江津)

直江津名物ホテルハイマートの駅弁「さけめし」は、「駅弁味の陣2019」で最高賞の「駅弁大將軍」に選ばれた逸品です。上越産のコシヒカリを使った塩昆布の炊き込みご飯の上に、丁寧に焼いてほぐし秘伝のタレをかけた銀鮭の身と、イクラのたまり漬がたっぷりと乗っている素朴だけどホテルハイマートが得意とする、特産の米と海の幸の融合が、小さなお弁当のなかに凝縮している、全て手作りにこだわった、とてもおいしいお弁当です。



旅はハイ&カラで。唐揚げ弁当(新宿駅)

細谷 優希さん(商品戦略部販売促進ユニット)

お店のデジタル広告でも目立っていたので、思わず選びました。「だし唐揚げ」「柚木こしょう唐揚げ」の2種類の唐揚げが楽しめる、大満足の1品でした！今度は新幹線のなか、旅行先などで是非ハイボールと合わせて食べてみたいですね！



秋のかながわ味わい弁当(横浜駅など)

薄井 英之さん(その2)

秋限定の駅弁といえば、崎陽軒の「かながわ味わい弁当」！紅葉シーズン行楽のお供に欠かせなく、出来立ては、ほのかに温かく冷めてもおいしい、かながわ味わい弁当！神奈川県とタイアップ企画として誕生し、県内の食材を詰め込んだ一品！この時季でしか味わえない期間限定品です。神奈川を感じ、一度は是非食べてほしい駅弁です。



高崎分会

おぎのや峠の釜めし(高崎駅)

野呂 悠太さん(NewDays北本)

現在、いろいろな峠の釜めしを販売していますが、今回はTHE定番、峠の釜めしにしました。「群馬に来たら峠の釜めし！」と想像していただきたいです。具材もいろいろ入っているのでどれから手をつけようか悩んじゃいます。



上州御用鳥めし(高崎駅)

村田 美穂さん(NewDays高崎西口)

高崎駅のコンコースにある登利平のお弁当です。群馬県民のソウルフードで、ご飯にしみ込んだタレがおいしいのでパクパクいけちゃいます。漬物もおいしいです。他にも種類があるので群馬にきたらぜひ召し上がっていただきたいです。



八王子分会

ワインのめし(甲府駅ほか)

神宮寺 政子さん(NewDays甲府)

山梨県の名物、甲州ワインにぴったりの駅弁がこちらの「ワインのめし」です。オードブル風に小分けされたおかずはワインのお供としても、もちろんお食事としても楽しめる、贅沢な駅弁です。山梨観光の締めにかがでしょうか？



煮かつサンド(八王子駅ほか)

笹原 千鶴さん(ニッポンスタンダードアトレヴィ三鷹)

私が紹介するのは、八王子のジャズバー&カフェ「ロマン」の名物「煮かつサンド」です。煮込んだカツをサンドしているので他のカツサンドとは違った味わいが楽しめます。八王子名物として駅ビル「セレオ八王子」で販売しているので、これも立派な駅弁！ですね！



新宿分会

黒毛和牛 牛めし(池袋駅)

村岡 剣大さん(NewDays池袋)

JR池袋駅直結の西武池袋本店にある「柿安」さんの「黒毛和牛 牛めし」をオススメします！秘伝のタレで丁寧に炊きあげられた黒毛和牛、お米には奥出雲産の仁多米を使用した柿安の看板商品です。お肉が甘味があってとにかくおいしいです！



新宿弁当(新宿駅)

中山 尚士さん(NewDays新宿南口中央/右) 鹿兒島 航さん(新宿支店総務課/左)

7月1日付で松本から異動して、初めて「新宿弁当」という駅弁があることを知りました。ただ、通勤時に商品があるか確認するといつも売り切れor入荷待ちの状態でした。今回はあらかじめ予約をして無事にゲットすることができたので、レアな駅弁を紹介することができました。小淵沢で有名な弁当屋「丸政」がつくっているのでもっておいしいです！



大宮分会

E5系はやぶさ弁当(大宮駅)

黒須 真弓さん(NewDaysミニ大宮32号)

私のオススメの駅弁は「E5系はやぶさ弁当」です。E5系はやぶさ新幹線をモチーフにした可愛いパッケージと、お子さまにも人気のケチャップライスやハンバーグなどのおかずが盛りだくさんです！さらに、食べ終わった後の容器でも遊べて一石二鳥ですよ！E5系はやぶさ弁当を食べて今日も元気にしゅっぱつしんこう〜〜!!!!



とちぎ霜降高原牛めし(宇都宮駅)

齊藤 竜史さん(宇都宮エリア)

私のオススメする駅弁は、私の地元でもある栃木県のブランド牛を使用した「とちぎ霜降高原牛めし」です。甘辛く煮た牛肉とごぼう、そして煮卵が格別なイチオシのお弁当です！そもそも駅弁とは、この宇都宮の地で1885年に販売したことが発祥と言われております。宇都宮にお越しの際は、鉄道150周年・駅弁137年の歴史に想いを馳せながら、是非栃木の味を堪能してください！



千葉分会

うにとさざえめし(安房鴨川駅)

川名 友子さん(NewDaysミニ安房鴨川1号)・山中 萌さん(千葉支店営業課)・井落 千鈴さん(NewDays土気)

JR内房線・外房線の終着駅「安房鴨川駅」の駅弁といえば南総軒の「うにとさざえめし」。炊き込みご飯の上に、うに、さざえ、ひじき、錦糸卵が乗った彩りの良い駅弁です。房総の綺麗な海を眺めながら食べる駅弁は最高ですよ！郷土料理「さんが焼き」を使った「さんが焼きおにぎりサンド」も併せていかがでしょうか。



銚子の鯖寿司(銚子駅)

全国主要漁港水揚げランキング1位はどこかご存知でしょうか？実は11年連続で銚子港が獲っておりその漁獲量28万トン(2021年実績)。その銚子港が誇る鯖を熟成塩だれ製法にて寿司にした駅弁「銚子の鯖寿司」は、脂がのって絶品です。ND銚子ではもちろんのこと、NewDays駅弁祭りの日限定でND小岩でも販売しているので、ぜひ買いにきてください！



水戸分会

鉄道開業150周年記念弁当 磐城の国弁当(いわき駅など)

中川 拓さん(NewDaysいわき)

鉄道開業150周年記念で10月1日に発売となった弁当です。うに貝焼きや、ホッキ貝、さんまポーポー焼き、など、いわきの海産物を使った郷土料理がふんだんに使用されている弁当です。お腹が空いていたので正面向いてよ！と言われたときには、弁当を完食してしまいましたが、それぐらいおいしいということが伝わるといいな！



松崎 玲子さん(小岩エリア)

秋野 恵さん(左)・小林 真依さん(右) (ともにNewDays小岩)



長野分会

厚切り甲州かつサンド(茅野駅)

両角 政美さん(NewDaysKIOSK茅野店)

JR中央本線小淵沢駅のすぐ近くで、大正7年に創業し、地元山梨県と長野県の食材、味付けにこだわった駅弁を販売している老舗メーカー「丸政」のお店が、茅野駅の3番線ホームにもあります。人気商品の「ワインのめし」は2021年の駅弁味の陣で駅弁大將軍に選ばれました。



山賊焼弁当(松本駅)

高山 享さん(NewDays松本銘品館)

松本駅社員さんが考案した松本駅独自の駅弁です。800円と手ごろな値段ですが存在感のある山賊焼が入っており、見た目以上にボリュームがありました。通常、駅弁の山賊焼は、パサパサしがちですが…そんなことはなくしつかりとお肉の味が伝わりました。中に入っている、わさび漬けもツーンと鼻に抜ける心地がとてグッドです！JR-Crossでは取り扱えないのが本当に残念ですが…オススメできる一品です！



7つのまちがいさがし

問題

上の絵と下の絵を比べると7カ所のまちがいがあります。どこでしょう。印刷のよごれやかすれ、スクリーントーンの濃淡はまちがいに入りません。

絵その1



きりとり

応募用紙 フォーシーズン No.122

絵その2



絵その1 と比べてまちがっている所にマルをつけてください。

分会名 _____

氏名 _____

郵便番号 _____

住所 _____

●「フォーシーズン」に対する感想・要望等

オリジナル図書カードが当たる

このクイズの答えを応募用紙(コピーでも可)に記入し、郵便はがきに貼り付けて郵送してください。正解者の方の中から抽選で今回は20名の方に「オリジナル図書カード」を贈ります。是非、クイズに挑戦してゲットしてください。



応募方法 応募用紙に、必要事項を記入のうえ、ハガキに貼り付けて郵送してください。(FAX・メールも可 FAX:03-6871-6617 mail: senjuu05@jretailu.or.jp)

あて先 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-9-2 JR東日本クロスステーション労働組合

締め切り 2023年1月31日(火)当日消印有効 ※クイズ応募の際の個人情報は、当選賞品の発送以外の目的には利用しません。

No.121の答え



①右後ろの女性の水着②右手前の女性の水着③中央の子どもの右腕④サクラambo⑤左の女性の腕輪⑥左上の人の帽子⑦植木鉢

No.121当選者のみなさん

抽選により、9名のみなさんが当選されました。おめでとうございます。

- | | | | |
|-------|-----------|-------|----------|
| 東京 分会 | 長塚 和子さん | 高崎 分会 | 内山 智恵子さん |
| 大宮 分会 | 千代田 真智子さん | 水戸 分会 | 野口 和恵さん |
| 大宮 分会 | 芦川 友里子さん | 千葉 分会 | 内田 英二さん |
| 大宮 分会 | 内田 由美子さん | 千葉 分会 | 臼井 健一郎さん |
| 大宮 分会 | 鈴木 聡美さん | | |

※No.120の当選者発表は発送をもってかえさせていただきます。

読者の声

「東日本のかき氷」、どのかき氷もとてもおいしそうでした。ぜひ来年もお願いたいです。
千代田 真智子さん

いつも楽しく拝見しています。子どもたちと軽井沢気分を満喫したいです。
芦川 友里子さん

ペット特集をやってください。みなさんのペットたちを見たいです。
内山 智恵子さん

伝言板

「7つのまちがいさがし」はFAXやスキャンングによるメール送信も受け付けています。
FAX:03-6871-6617
MAIL: senjuu05@jretailu.or.jp

Four Seasonsは組合員のみなさんでつくる機関紙です。ご意見やご発言など、どしどしお寄せください。

次号では「鉄道とエキナカと労働組合の歴史～JR誕生から現在まで～(仮)」を特集予定です。

編集のつぶやき
今回、先輩へのインタビューを担当しました。誌面では書ききれないほどたくさんのお話を聞かせていただきました。話を伺って、人とのつながりが大事だな、人の数だけ人生があるなど、コミュニケーションが希薄化している現代だからこそ痛感しました。(皆既日食)

Four Seasons

季刊122 2022.11.AUTUMN

JR東日本クロスステーション労働組合 TEL050-3644-2396 ■発行人/平野 智也 ■編集人/中島 周一 頒価400円(組合員は組合費に含む)

CONTENTS

執行委員長あいさつ.....	表紙裏	退任役員のあいさつ.....	10
特集Ⅰ「鉄道とエキナカと労働組合の歴史(前編)」.....	1	投稿企画「鉄道150年だよ! 駅弁大集合!」.....	12
特集Ⅱ「働きながら介護を続けるコツ 第2回」.....	5	7つのまちがいさがし.....	16
特集Ⅲ「第36回定期大会レポート」.....	6	伝言板・編集のつぶやき・CONTENTS.....	17

2022年11月の タロット占星術

牡羊座

お金を増やすことに興味が出てきても、勉強するまでにとどめておいた方が良さそう。今は手を出すとよくない結果が出るかもしれません。今は新しい趣味を始めると身に付くことが多そう。

3月21日～4月19日生まれ

蟹座

勝負運が高まる時。いざという場面でも、うまく成功を取められそうです。自分の感覚を大切にするとますます運氣を味方につけることができるでしょう。ラッキーアイテムは蟹料理、赤い小物。

6月22日～7月22日生まれ

天秤座

モノより思い出にお金をかけるとよい時期。行ったことのない場所やパワースポットに行くと自分の成長を促すことができそう。そこで培われた経験が仕事や生活に活かせるヒントに繋がりそう。

9月23日～10月23日生まれ

山羊座

身の回りの状況が動く時。自分はどう変化していくべきか考えると、正しい行動が取れそう。忙しくても、未来についてじっくり考える時間が取れると、一つひとつの物事が上手くいくでしょう。

12月22日～1月19日生まれ

牡牛座

人からオススメされたことを素直に関心を持ってみると良いかも。自分とは縁遠い分野でも、始めてみると案外ハマってしまうかもしれません。新しい運氣が巡ってきそうです。ラッキーアイテムはグミ。

4月20日～5月20日生まれ

獅子座

周囲と比べて、実力不足を痛感してしまう時期。ここで不貞腐れず頑張れると、持ち直すし、グングン実力が伸びていくでしょう。いつもとは違う雰囲気意識すると恋愛運がアップします。

7月23日～8月22日生まれ

蠍座

自分の感覚に頼り過ぎると、全体像が見えなくなり弱ってしまいそう。常に客観的な視点を持つことを忘れないようにしましょう。将来的なことを考えて動けると、実になることがありそうです。

10月24日～11月22日生まれ

水瓶座

何をやっても満たされない時期。足りないものを人や物に求めるのではなく、自分自身で解決できるようにしてみよう。自分の機嫌を上手にとれると、運氣が上がります。ラッキーアイテムはカルパス。

1月20日～2月18日生まれ

双子座

買い物で、白などのカラフルで明るい色のものをチョイスすると運氣が上がります。嫌なことがあっても、気持ちの切り替えを意識して。しばらくすると自分でも驚くようないいことがあるかもしれません。

5月21日～6月21日生まれ

乙女座

いつもより少しよいものにこだわって選んでみると良い時。多少お金がかかっても、いい出会いがありそうです。自分の教養を深めるために投資するとお金を使った分だけ確実に実になる時期です。

8月23日～9月22日生まれ

射手座

限界を感じた先で、レベルアップすることができそう。これまでの自分を超えて、もう一歩努力できるとさらに前に進めそう。自信が持てると、ますます活躍の場も広がりそうです。ラッキーアイテムは黒鉛。

11月23日～12月21日生まれ

魚座

自分一人で仕事を背負っているような気がしてしまいそう。身近に仲間がいることを忘れないようにして。人の世話を焼くほど、出費がかさんでいますが、そのうちお金の巡りがよくなっていきます。

2月19日～3月20日生まれ